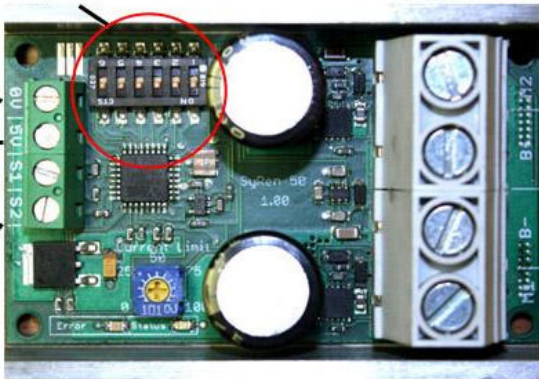


SyRen 50 回生モータドライバをお買い上げいただきありがとうございます。SyRen 50 は、とても柔軟な設定ができるモータドライバです。ご使用前に正しく動作モードを設定していただく必要があります。下の図が一般的な SyRen 50 の配線図となります。裏面によく使用される動作モードの設定例があります。

<p>DIP スイッチは、ドライバの動作モードの設定に使用します。</p> 		<p>SyRen 50</p> <p>入力電圧： 6V-24V</p> <p>出力電流： 50A</p> <p>ピーク時出力電流： 100A</p> <p>制御モード： アナログ・R/C・シリアル</p>
<p>0V：GND です。内部で B- に接続されていて、回路の GND として使用できます。</p> <p>5V：モータドライバから供給される安定化した 5V 電源です。10mA 以上の電流を取り出すとモータドライバの性能低下につながる恐れがあります。</p> <p>S1：信号入力です。R/C サーボ信号やアナログ電圧などに接続する必要があります。</p> <p>S2：信号入力です。一部の制御モードで使用します。</p>	<p>M2：モータの片方の端子へ接続します。</p> <p>B+：バッテリーの正極へ接続します。最大推奨電圧は 24V です。</p> <p>B-：バッテリーの負極へ接続します。内部で 0V と接続されていて、回路の GND として使用できます。</p> <p>M1：モータのもう一方の端子へ接続します。</p>	
<p>B+ と B- を逆に接続しないでください。 ご使用前に DIP スイッチが正しく設定されているかご確認ください。</p>		

製品ドキュメントやマニュアルは Web ページをご覧ください。（英語）

<http://www.dimensionengineering.com/SyRen50.htm>

日本語訳：株式会社朱雀技研 info@suzakugiken.jp （2019年2月）



動作モード一覧（すべて DIP スイッチから設定可能）

	<p>アナログ・双方向：S1 に 0~5V のアナログ電圧を接続 0V で最大逆転、5V で最大正転、2.5V で停止</p>
	<p>アナログ・単方向：S1 に 0~5V のアナログ電圧を接続 0V で停止、5V で最大正転</p>
	<p>標準 R/C：S1 に R/C サーボ信号を接続 1000 μs パルスで最大逆転、2000 μs で最大正転、1500 μs で停止</p>
	<p>R/C 自動較正：S1 に R/C サーボ信号を接続 SyRen が自動的に信号の midpoint・終点を検出</p>
	<p>簡易シリアル (38400bps)：S1 に TTL レベル 8N1 (8 ビット長パリティ無 1 停止ビット) のシリアルデータ入力を接続 1 バイトのデータで制御 (0 で最大逆転、128 で停止、255 で最大正転)</p>
	<p>パケットシリアル (アドレス 128)：S1 に TTL レベル 8N1 (8 ビット長パリティ無 1 停止ビット) のシリアルデータ入力を接続 複数バイトのパケットデータで制御</p>
	<p>リチウムバッテリー保護オプション：すべての動作モードにおいて、DIP スイッチ 3 を下に設定すると、バッテリーが 3.0V/セルを下回った時点で SyRen を停止 リチウム電池を破損から保護します。</p>

SyRen 50 はこれらの他に 20 以上の制御モードが実装されています。
マニュアルの完全版については Web ページをご覧ください。（英語）

<http://www.dimensionengineering.com/SyRen50.htm>